



疑惑が残る柏原市民病院 管理者が副市長に!?

入札疑惑が解明されていない柏原市民病院 吉田管理者が副市長になるのか!?

柏原市は本当に疑惑を解決するつもりがあったのか? マスコミを騒がせた柏原市民病院の不正入札疑惑が解明されていない状況で、病院の最高責任者である吉田管理者を副市長にと、市長が2月22日の本会議に人事案件として提出したのだ。

岡本市長が議会に提出 市民病院の管理者が副市長候補

柏原市民病院の管理者である吉田氏を副市長にする人事案件が、岡本市長から2月22日の本会議に出された。昨年12月、柏原市民病院が実施した医療機器の指名競争入札で、2009年度以降にT社が全体の半分を超える14件を落札した問題が発覚し、不正入札疑惑として騒がれた市民病院の管理者が、副市長として人事案件に上がることは論外ではないだろう。しかも、当日、吉田氏は病院管理者を退職されていなか

が、大阪府警の捜査があったことは事実である。何もなくて大阪府警の捜査が入ることはありえない。「内偵だ」と言っているが、府警が動くことはすでに「捜査」である。なお、副市長の人事案件は、3月28日の柏原市議会の最終日の採決となった。副市長の人事案件は2月22日、



柏原市民病院

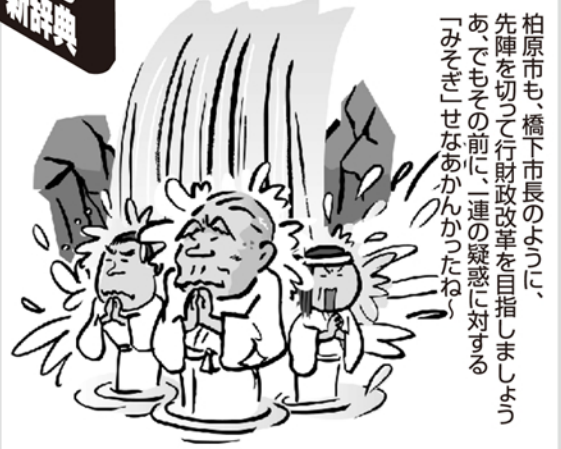
本会議で無記名による即日採決の予定であったが、当日、突如3月28日の閉会時採決となった。岡本市長は「体調が悪い」と、度々、本会議、委員会を退席等していた。何故、議事に理由を説明するこ

「調査」委員会を「検討」委員会に変更、 1度も調査しなかったという事実

さて、病院入札不正疑惑に対し、昨年12月8日、市は「調査委員会」を立ち上げて調査結果を公表すると発表した。12月28日には第1回目目の調査委員会

病院と市の職員、及び関係者である。市民から選ばれた議員や監査員など、中立な立場の人間がほとんど入っていない。調査をしないために「検討」という名称に変えたのか、全く委員会設立の意味をなさない。「非公開」というのも、まさにあやしい。

「みそぎ」 水で体を清め、罪やけがれを洗い流すこと。



柏原市も、橋下市長のように、先陣を切って行財政改革を目指しましょう。あ、でもその前に、連年の疑惑に対する「みそぎ」せなあかんかったね。

2月16日、柏原市民病院に関する「検討委員会」(もと調査会)の報告が、柏原市議会で行われた。案の定、調査結果の発表はなく、入札に関する改善提案をするだけであった。不正疑惑の業者や病院関係者を一度も呼んで、事情を聞いたことがないという。やはり調査はしなかったのだ。ある議員が「風評で患者数が減少しているのでは?」と質問したところ、吉田管理者

柏原市に新しい風を 内部から真の行財政改革を

先程から述べているように、柏原市民病院不正入札の疑惑がなんら解明されていないのに、疑惑の責任者の立場にあった人物を副市長の人事案件に上げることは、言語道断である。また、以前から何

は、「患者数が減少したので、現在、弁護士と相談して、名誉毀損で訴える」という趣旨の発言をしたという。誰を訴えるのだろうか? 委員会が「入札の正当性は捜査機関の判断に委ねる」として業者から事情も聞いていない中で責任者の立場にある人物を副市長にするのは如何なものだろうか。

度か人事案件に上がったM氏が吉田氏に替わって、病院管理者になるというウワサも聞かれています。岡本市長が「維新の会の最高顧問」と豪語しているなら、公明正大な人物を副市長に選